

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
マーケティング力ある林業担い手の育成	目標を達成することができ、十分に成果があったといえる。	災害発生件数が増加しないよう、今後も継続的に労働安全対策を推進する必要がある。
林業経営体の育成		
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

3. 個別事業評価
 森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
						1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	
安定供給 体制の整備 推進	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業シス テム整備	林業機械 導入 高性能林 業機械等 スイング ヤーダ ハーベス タ	平成30年度	素材生産量(m ³)	12,365					
					10,821 → 15,640	8,074					
						65%					
					素材生産性(m ³ /人・日)	6.03					
					5.62 → 6.87	4.50					
						75%					
					稼働時間(h)	1,373					
木材利用 及び木材 産業体制 の整備推 進	木造公共 建築物等 の整備	木造公共 施設整備	公共施設 木質内装 駅自由通 路	平成30年度	施設利用者数(人)	2,477,255					
					0 → 2,569,965	96%					
					単位当たりの地域材利用量(m ³ /m ²)	0.012					
					0 → 0.012	100%					
					単位面積当たりの事業費(円/m ²)	37,905					
					0 → 26,658	70%					